

平成 23 年度第 1 回長野県不登校対策検討委員会の検討結果について

教学指導課心の支援室

1 趣 旨

県と市町村教育委員会が、児童生徒の不登校の課題解決に向けて、共通理解や相互の認識を深め、的確かつ迅速に対応するために開催する。本年度の施策の評価、検証及び次年度に向けた施策検討を行う。

2 委 員（12 名）

| | | | |
|-------|----------------|--------|----------------|
| ○近藤 守 | 長野市教育委員長（副委員長） | ◎山口 利幸 | 教育長（委員長） |
| 松村 隆 | 中川村教育委員長 | 荒深 重徳 | 教育次長 |
| 本庄 利昭 | 山形村教育長 | 北田 愛治 | 義務教育課長 |
| 小山 壽一 | 上田市教育長 | 高柳 俊一 | 教学指導課長 |
| 荒井今朝一 | 大町市教育長 | 和田 英夫 | 特別支援教育課教育幹 |
| 上村恵津子 | 信州大学教育学部教授 | 宮寄 貞子 | 県スクールソーシャルワーカー |

3 第 1 回委員会の実施状況

（1）日 時 平成 23 年 6 月 8 日（水） 午前 9 時 40 分から 11 時 40 分まで

（2）報告事項

- ① 平成 23 年度生徒指導の推進について
- ② 平成 23 年度「笑顔で登校」支援事業について
- ③ 平成 23 年度「不登校児童生徒地域支援チーム」整備事業について
 - ・ 第 1 回地区推進会議について
- ④ 不登校経験者対象の学校生活アンケートについて
- ⑤ 平成 22 年度「不登校対策検討委員会のまとめ」について

（3）協議内容

＜平成 23 年度長野県不登校対策検討委員会の方向性について＞

ア 長期欠席者分類（「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」）における判断基準のあり方等について

（審議の経過）

- ・ 不登校在籍率の市郡別公表に係わって、学校及び市町村教育委員会が長期欠席者の分類に苦慮している事例があることが判明した。
- ・ 平成 22 年度の第 3 回委員会で、長期欠席者の理由別分類は「その子どもの支援の方向を見出すための分類」であり、「学校と市町村教育委員会が同じ見解に立って判断する」ことの 2 点を確認した。
- ・ 平成 22 年度問題行動調査実施にあたって、上記 2 点を「分類上の留意事項」として、市町村教育委員会及び学校に周知した。さらに、幅広く意見を聴取し事例を集める必要から、次年度も継続して審議することとした。

長期欠席者の分類については、「支援につながる分類であること」「市町村教育委員会と学校は共通認識を持って判断を行うこと」の2点を踏まえ、今後も事例研究を進める。

イ 不登校状況や課題分析の視点とそれに基づく効果的な施策について

- ・ 不登校の課題については、福祉・保健・医療等関係機関や地域との連携(横の連携)、幼保小中高の学校種間の連携(縦の連携)が有効に機能することによってより改善が図られる。
- ・ 不登校児童生徒数を減らすことに留まらず、子どもたちが毎日行きたい「学校・学級づくり」また、「授業改善」等の未然防止策を推進する。
- ・ 効果があった事例を集め、不登校のきっかけや背景、支援のプロセスごとに整理していく必要がある。

ウ 事業評価のあり方について

不登校の状況について、支援による改善を表す「客観的な指標」を検討していく。さらに、その指標に基づいて事業や支援の有効性を評価し、次の不登校施策に活かしたい。

4 その他

(1) 第2回委員会

- ① 日 時 平成 23 年 9 月 1 日(木) 午後 1 時 30 分から 4 時まで
- ② 内 容
 - ・ 不登校の現状及び課題とその対策について
 - ・ 「笑顔で登校」支援事業実施市町村による取組発表

(2) 第3回委員会

- ① 日 時 平成 23 年 12 月 20 日(火) [予定]
- ② 内 容
 - ・ 各施策の事業評価について
 - ・ 行動指針の改訂について
 - ・ 教育事務所「不登校児童生徒地域支援チーム」の取組発表
 - ・ 平成 24 年度の不登校施策について